

平取ダム竣工式を執り行いました

室蘭開発建設部では、平取ダムの完成を迎え、これまで事業にご協力いただいた関係者の皆様に感謝するとともに、地域の発展を祈念して平取ダム竣工式を執り行いました。



室蘭開発建設部：篠宮部長の式辞



国土交通省：石井副大臣の挨拶



鶴川沙流川河川事務所：吉野所長の工事報告

- 開催日時 令和4年11月26日(土) 13:00～14:00
- 開催場所 平取町民体育館
- 参加 関係国会議員、関係道議会議員、関係町議会議員、平取ダム建設促進期成会、関係機関、平取町、日高町、地元関係者、工事関係者、北海道、国土交通省 など 約120名

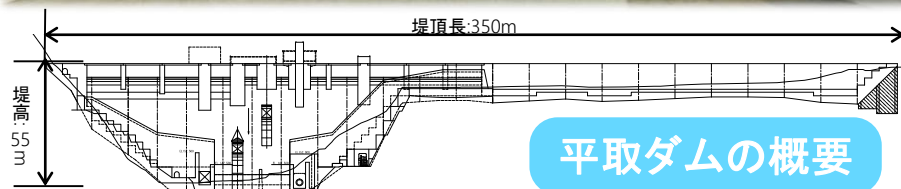


○場所：北海道沙流郡平取町字芽生
(沙流川水系額平川)

○諸元：型式 重力式コンクリートダム
堤高 55.0m
堤頂長 350m

○目的：洪水調節、流水の正常な機能の維持
水道用水の供給(平取町、日高町)

総貯水容量 45,800千³



平取ダムの概要



付替道路工事(宿主別橋)



地中連続壁施工状況

建設の歩み



ダム堤体コンクリート打設状況(2020年9月)



ダム運用状況(2022年10月)

平取ダムあれこれ

- 平取ダムでは、ダムの竣工に合わせて、これまで（建設中）だったダムカードをリニューアルし、令和4年11月27日から平取ダム管理支所にて配布を開始しました。
- 平取ダムには、サクラマスをはじめとする魚類の生息環境を保全するため、魚道を設置しています。魚道型式は、二風谷ダムと同じ階段式を採用しております。

ダムカード

ダムの目的

- F：洪水調節
- N：流水の正常な機能の維持
- W：水道用水



ダムの型式

- G：重力式コンクリートダム

DAM-DATA

所在地：北海道沙流郡平取町
 河川名：沙流川水系額平川
 型式：重力式コンクリートダム
 ゲート：クレスト（自由経流）×11門
 スライドゲート×1門
 高圧ローラーゲート×1門
 ジェットフローゲート×1門
 高圧スライドゲート×1門

堤高・堤頂長：55.0m・350m
 総貯水容量：4,957万m³
 管 轄：国土交通省 北海道開発局
 本体竣工年数：2013/2022年

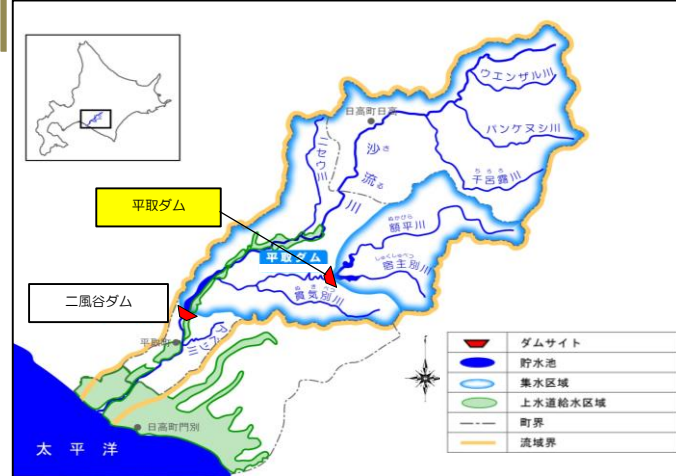
ランダム情報
 平取ダムのある額平川は、日本百名山のひとつで、その中でも登頂難関とされる横尻岳を源としています。ダム近傍には日本一の広さを誇るすすらん野生地もあり、登山、すすらん鑑賞などの来訪者が訪れる景勝地となっています。

こだわり技術
 平取ダムの左岸段丘部には、地中連続壁という延長約260m、深さ最大約26m、厚さ1mの鉄筋コンクリート製の壁を設置しています。その名の通り地中にあるため見ることはできませんが、ダムに貯めた水が下流に浸透するのを防ぐ役割を担っています。

ランダム情報は、ダム周辺の景色や自然環境を記載しています。

平取ダムの目的

- ①洪水調節**
 二風谷ダムと平取ダムの2ダムにより、前線や台風などで大雨が降った時に、沙流川及び額平川から流れ込む水を貯めて川の増水を緩和し、ダム下流域の洪水被害軽減を図ります。
- ②流水の正常な機能の維持**
 ダムに貯めた水を下流に流すことにより、ダム下流の河川環境の保全や既得用水等流水の正常な機能の維持を図ります。



- ③水道用水の供給**
 平取町、日高町門別地区で必要となる水道用水を安定して供給し、地域の方々の暮らしを支えます。

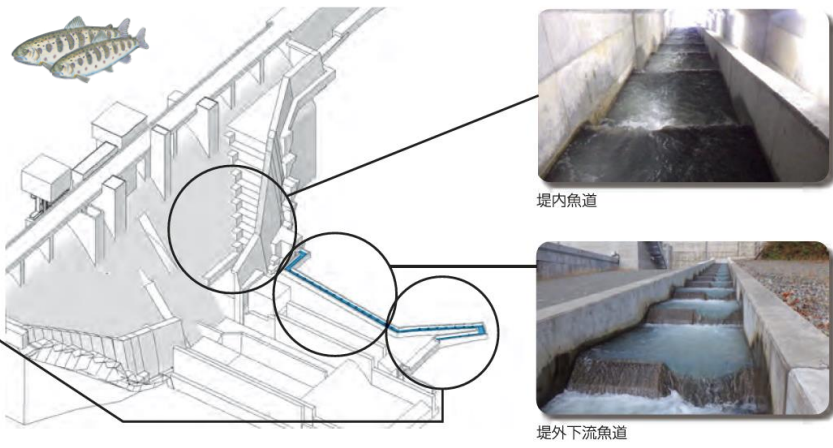
E アースダム	R ロックフィルダム	G 重力式コンクリートダム	A アーチ式コンクリートダム
主に土を材料としてつくられる原始的なダム。日本に古くからあるダムのほとんどがこの形式。安価でできるが、大きなダムには適さない。自然に溶け込んでいるので、ダムと気付かない場合も多い。	天然の岩石や砂利、砂、粘土などを堤体材料にするダム。ダムの型式の中で最も堤体積が大きい型式。ダム堤体内部で水を速るタイプをゾーン型、ダム堤側の堤体表面で水を速るタイプを表面造水型と呼ぶ。	ダム本体の重さで水圧を支える。一般的に断面の形は直角三角形で、使用するコンクリートの量が多く基礎地盤はある程度の強度が必要。国内のコンクリートダムの中で一番多いのがこの型式。	アーチの作用で、力を周囲の岩盤に伝えて水圧を支える。堤体は美しいアーチの形状をしている。重力式に比べ、使用するコンクリートの量が少なくて済むが、周囲の岩盤が強度である必要がある。
B バットレスダム	HG 中空重力式ダム	GF コンパインダム	GA 重力式アーチダム
鉄筋コンクリート製の造水板で水をせき止め、鉄筋コンクリート製のバットレスと呼ばれる壁で水圧を支える。コンクリート使用量が削減できるが、構造と施工が複雑で国内でつくられたものは数少ない。	見た目は重力式コンクリートダムに似ているが、内部が空洞になっている。コンクリート量を節約できる。堤体の中が空洞で重力式に比べて軽いため、幅を大きくして水圧を支える。	2つ以上の型式のダムを組み合わせた複合型のダム。河川の地盤地質が両岸で違う場合などに用いられることがある。日本では、重力式コンクリートダムと、フィルダムを組み合わせたものが多い。	コンクリートで作られたダムで、重力式コンクリートダムとアーチダムの両方の特性を備え、それによって水圧を支えているダム。

魚道

魚たちの遡上を支え、豊かな自然を育むために

遡河回遊魚であるサクラマスが額平川上流まで遡上し、支川等で産卵床を確認していることから、移動性を確保するために階段式魚道を整備しています。

堤体内に水位調整用ゲートを設けて魚が遡上しやすい流量を保っています。



堤外下流魚道

堤内魚道

堤外下流魚道